

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和2年度病害虫発生予報第2号

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085
内線 471
ファックス 0561-63-7820

令和2年度病害虫発生予報第2号(5月)

令和2年5月1日
愛知県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (苗いもち)	平年並	県全域	前年の穂いもち発生量は平年並	±
	イネミズ ゾウムシ	やや少ない	県全域	前年6月下旬の本田発生量はやや少ない 前年の予察灯における誘殺数は平年並	- ±
ムギ	うどんこ病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い	+
	赤かび病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	± ±
	さび病類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

[コムギ・うどんこ病]

4月30日発表の「ムギ類うどんこ病情報」を参考にしてください。

・留意事項

ムギ類赤かび病については、本日発表の「ムギ類赤かび病情報第2号」を参考にしてください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
ウンシュウミカン	そうか病	多い	県全域	3月の越年発病葉率は高い	+
	ミカンハダニ	多い	県全域	3月上旬の発生量はやや多い 5月の気温は高い	++
ナシ	黒星病	やや少ない	県全域	4月上旬の花そう基部の発病率は は平年並 4月下旬の発病葉率はやや少ない 5月の降水量はほぼ平年並	± - ±
	アブラムシ類	やや多い	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の気温は高い 5月の降水量はほぼ平年並	± ++ ±
モモ	黒星病	やや少ない	県全域	4月下旬の発病枝率はやや少ない 5月の降水量はほぼ平年並	- ±
	せん孔細菌病	やや多い	県全域	前年の発生量は多い 4月下旬の発病枝率は平年並 5月の降水量はほぼ平年並	++ ± ±
	ナシヒメシクイ	平年並	県全域	フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	±
	モモハモグリガ	平年並	県全域	4月下旬現在、被害を確認して いない(平年並) フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並	± ±
ブドウ	黒とう病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い 5月の降水量はほぼ平年並	++ ±
	べと病	やや多い	県全域	前年の発生量はやや多い 5月の降水量はほぼ平年並	++ ±
カキ	炭疽病	やや多い	県全域	前年秋の発生量はやや多い 5月の降水量は平年並	++ ±
	うどんこ病	やや少ない	県全域	前年秋の発生量はやや少ない	-
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	チャバネアオカメムシの越冬世 代成虫密度はやや多い	+

・防除対策

[ウンシュウミカン・そうか病]

ナティーボフロアブルやベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

[ウンシュウミカン・ミカンハダニ]

トモノールSなどで防除しましょう。

[ナシ・アブラムシ類]

アルバリン/スタークル顆粒水溶剤、アドマイヤー水和剤などで防除しましょう。

[モモ・せん孔細菌病]

マイコシールドやスターナ水和剤などで防除しましょう。

[ブドウ・黒とう病]

アリエッティC水和剤やジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

[ブドウ・べと病]

アリエッティC水和剤やジマンダイセン水和剤などで防除しましょう。

[カキ・炭疽病]

ベルコート水和剤やストロビードライフロアブルなどで防除しましょう。

[果樹共通・カメムシ類]

4月3日発表の「果樹カメムシ類情報第1号」を参考に防除しましょう。

・留意事項

有効積算温度を利用して各種害虫の防除適期を予測しました。チャノキイロアザミウマは、本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第1号」を参照してください。その他、ナシマルカイガラムシの防除適期は、今のところ5月31日から6月6日、フジコナカイガラムシは、6月5日から13日となっており、昨年よりも3日程度遅いと予測しています。今後の気温経過で発生ピーク日が前後するため、5月中旬頃にこれら害虫について、最新の気象データを用いて計算し直し、防除適期に関する情報を提供する予定です。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の気温は高い 5月の降水量はほぼ平年並	－ ＋ ±
タマネギ	べと病	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の降水量はほぼ平年並	－ ±
トマト (施設)	黄化葉巻病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない 5月の日照時間はほぼ平年並	－ ±
	ハダニ類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±
	アザミウマ類	やや少ない	県全域	4月下旬の発生量はやや少ない	－
キュウリ (施設)	べと病	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並 5月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	灰色かび病	やや多い	県全域	4月下旬の発生量はやや多い 5月の日照時間はほぼ平年並	＋ ±
	アザミウマ類	平年並	県全域	4月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

[キュウリ・灰色かび病]

アフエットフロアブルやダイアメリットDFなどで防除しましょう。1月31日発表の「灰色かび病情報第1号」も参考にしてください。

・留意事項

ミナミキイロアザミウマが媒介するキュウリ黄化えそ病（病原：MYSV）、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病（病原：TYLCV）、タバココナジラミ及びオンシツコナジラミが媒介するトマト黄化病（病原：ToCV）が発生しているほ場では、次作への伝染を防ぐために、栽培終了後、植物残さをほ場外に持ち出す前に施設を密閉して、媒介虫を死滅させましょう。

花き

・留意事項

キク（露地）では、親株床でアザミウマ類やアブラムシ類の発生に注意し、発生を認めたら防除を徹底しましょう。また、白さび病の発生があるほ場では、発病葉を早めに除去するとともに、系統の異なる農薬でローテーション散布をしましょう。

今後はアザミウマ類やハダニ類が増加する時期になります。本ぼと親株床を含めた防除に努めましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>）、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>）を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台4月30日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%